

特別国民体育大会冬季大会成績概況

1 大会会期及び会場

【スケート競技会・アイスホッケー競技会】

会期:令和5年1月28日(土)～2月5日(日) 9日間 会場:青森県八戸市

【スキー競技会】

会期:令和5年2月17日(金)～2月20日(月) 4日間 会場:岩手県八幡平市

2 冬季大会総合成績

	競技得点	参加得点	総合得点	総合順位
天皇杯成績 ()内は昨年	58点 (110点)	30点 (30点)	88点 (140点)	17位 (7位)
皇后杯成績 ()内は昨年	16点 (32点)	20点 (20点)	36点 (52点)	20位 (12位)

3 各競技会成績

スケート競技会成績 ◇競技得点 成男 12点(49点) 成女 5点(27点) 少男 5点(7点) 少女 0点(1点) 合計 22点 (84点) ◇総合成績[参加得点10点含む] ※天皇杯 32点 20位(94点 6位) ※皇后杯 15点 21位(38点 10位)	()内は昨年成績
アイスホッケー競技会成績 ◇競技得点 成男 0点(20点) 少男 25点(0点) 合計 25点 (20点) ◇総合成績[参加得点10点含む] ※天皇杯 35点 6位(30点 7位)	()内は昨年成績
スキー競技会成績 ◇競技得点 成男 0点 (1点) 成女 5点 (2点) 少男 0点 (1点) 少女 6点 (2点) 合計 11点 (6点) ◇総合成績[参加得点10点含む] ※天皇杯 21点 12位 (16点 15位) ※皇后杯 21点 6位 (14点 13位)	()内は昨年成績

4 大会入賞者一覧

○スケート競技会

【スピード競技】

成年男子 1500m	小川 拓朗	3位 6点
成年男子 5000m	小川 拓朗	3位 6点
成年女子 1000m	上鹿度双葉	4位 5点
少年男子 1500m	湯澤 大翔	4位 5点

○アイスホッケー競技会

【アイスホッケー競技】

少年男子 4位 25点

○スキー競技会

【スキー競技】

成年女子 A ジャイアントスラローム	横尾 彩乃	7位 2点
成年女子 B ジャイアントスラローム	小番 聖夏	6位 3点
少年女子 ジャイアントスラローム	大西 美琴	3位 6点

5 5ヶ年競技成績比較

競技名	第74回大会		第75回大会		第76回大会		第77回大会		特別大会	
スケート	10		24		52		94		32	
アイスホッケー	65		50		10		30		35	
スキー	14		17		-		16		21	
天皇杯得点・順位	89.0点	19位	91.0点	19位	62.0点	19位	140.0点	7位	88.0点	17位
皇后杯得点・順位	20.0点	28位	20.0点	30位	22.0点	18位	52.0点	12位	36.0点	20位

6 冬季大会総括

【スケート】

<スピード>

成年女子 1000 mにおいて上鹿渡双葉選手が4位に入賞した。少年男子湯澤大翔選手は、昨年6位入賞を果たした1000 m予選で転倒し、決勝進出を逃したが、1500 mではその雪辱を果たし昨年の7位入賞を超える4位入賞となり、初出場から3大会連続の入賞となった。成年男子小川拓朗選手は、予選から安定した滑りを見せ、出場した1500 m、5000 mの両方で3位入賞となり、表彰台に立った。

<ショートトラック>

少年男子 500 m、1000 mの両種目で並木碧飛選手が予選を突破し、準々決勝へ進出したが、準決勝へあと一歩及ばず、両種目とも準々決勝敗退となった。今後の更なる成長に期待したい。

<フィギュア>

成年女子、小室笑凜選手がフリースケーティングに進出した。結果は昨年と同じ23位となり入賞には至らなかった。

【アイスホッケー】

成年男子が1回戦で神奈川県と対戦し、2-2の同点のままサドンデス方式の延長戦で得点し2回戦へ進出した。2回戦は埼玉県と対戦し、第3ピリオド開始直後は3-1とリードしていたが、埼玉県の粘り強さにペースを奪われ、3-5と逆転され敗退した。所属の垣根を超えたチームワークを築き、次大会の活躍に期待したい。少年男子は、1回戦、準々決勝と快勝し、準決勝戦では古豪北海道と対戦したが牙城を崩せず0-9で敗退した。3・4位決定戦では埼玉県と対戦し、接戦の末1-2で破れ4位入賞となった。

【スキー】

<ジャイアントスラローム>

成年女子Aの横尾彩乃選手は、不利とされる3グループ52番での滑走であったが、果敢な滑りで7位入賞。昨年の少年女子から種別をまたいでの2年連続の入賞となった。成年女子Bの小番聖夏選手は昨年入賞の結果から比較的有利な第1グループ4番での滑走となった。プレッシャーを感じさせない期待どおりの活躍を見せ6位入賞。2年連続の入賞となった。少年女子の大西美琴選手は、昨年度全国中学校スキー大会において大回転、回転両種目優勝、今年度インターハイ回転優勝の実力を発揮し、初めての国体で3位入賞を果たした。一方、活躍を期待されていた少年男子の横尾錬選手、深澤崇晴選手は、強風のためにコースセットが変更になりスタート位置が低くなったことや積雪によるコースコンディション不良等が影響し、本来の力を発揮することができず期待された結果を残すことができなかった。

<クロスカントリー>

6名の選手が出場し、各選手が全力で競技に挑んだが、上位選手との力の差は大きく、成年男子Cの中村友選手の19位が最高順位となり、残念ながら入賞者を出すには至らなかった。しかしながら、少年種別選手の出場もあったことから、今後の普及強化等に期待したい。

今大会では、天皇杯 88点を獲得し17位、皇后杯 36点を獲得し20位となっており、前大会の半分程度の得点ではあるが、本大会での本県選手団の更なる活躍に期待したい。

地域の安心安全な未来を造ります

有限会社菊池建材工業

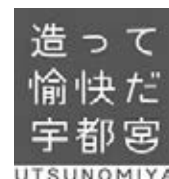
本社 栃木県宇都宮市宝木町2-1105-55 TEL 028-624-4731



有限会社 菊池建材工業
—KIKUCHIKENZENKOGYO—

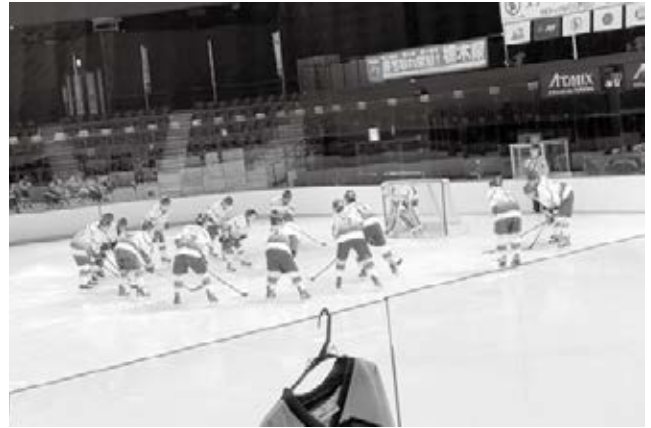


公式インスタグラム @kikuchikenzenai
#菊池建材工業





スピードスケート 成年男子
1500m第3位・5000m第3位
小川 拓朗選手 (右から3人目)



アイスホッケー 少年男子
第4位



ジャイアントスラローム 成年女子A
第7位
横尾 彩乃選手



ジャイアントスラローム 成年女子B
第6位
小番 聖夏選手



ジャイアントスラローム 少年女子
第3位
大西 美琴選手



スキー競技会女子総合成績
第6位